



麹町の居酒屋で見つけました。ダイープな下関情報が満載で新鮮でした。野村佐紀子さんが撮られる側で登場しているのも貴誌ならではの、うれしくなりました。

(27歳女性 東京都千代田区)

地元の美術館で入手しました。一読して、下関市にはセンスのよいお役人さんがいるなあと、うらやましくなりました。札幌市の役人にも、この洗練されたフリーペーパーを見せてあげたいものです。

(43歳女性 北海道札幌市)

豊浦郡出身です。高校生の時に通学列車にカンカン部隊のオバチャンがいたことを思い出し、涙が出ました。魚介類のおいしい山口県を誇りに思っています。

(55歳男性 東京都八王子市)

学生時代、青春18きっぷを使って日本を一周しました。その時に眺めた車窓風景、名も知らぬ小さな駅などを、第4号の写真を

見て思い出しました。下関にも下車しました。今また行くと変化していますけど、古い下関も新しい下関も、ともに大好きです。

(35歳男性 福岡県小郡市)

前の路地の写真が出ていた。住んでいて何も感じないのに外から来た人には珍しいのかと、改めて眺めてみた。やはり古い建物が残る場所ではある。以下は昔、カンカン部隊を見て詠んだ短歌である。「折り返す朝の列車は今降りしカンカン部隊の匂い残り」

(76歳男性 下関市)

九州へは新幹線で何回か行っています。今回は途中下車して下関へ寄りました。息子の誕生日旅行でした。下関駅に着いた瞬間、どこか懐かしい温かい思い

につつまれた気がして予定変更！この街にゆっくり滞在しました。帰路改めて『083』を読み、下関駅の歴史を知って感銘しました。

(35歳女性 滋賀県栗東市)

旧下関市は周辺4町と合併することによって物語、メルヘン、温かみ、天の恵みを与えられたことを感謝し、大切にしなければなりません。各地に根づいて

る小さな小学校を、ただ人数で廃校にしてはなりませんぞ。

(59歳男性 広島県安芸太田町)

初めて貴誌を手にとった時、読み物としてのクオリティの高さにびっくりしました。広告主体で内容の薄い冊子が氾濫している中、とても惹きつけられます。関川夏央さんの「下関、駅と鉄道の物語」を読んだ後、下関から博多へ向かったのですが、駅を見る視点も気持ちも、以前とまったく違ったものになりました。学んで旅することの大切さを再認識させていただきました。

(36歳男性 東京都大田区)

広島に住む姉が、私が好きそうな冊子だからと、わざわざ送ってくれました。今回は鉄道特集で列車好きの私は楽しく読みました。次号も期待しています。

(33歳女性 岐阜県高山市)

下関生まれで幼少期を過ごし、この春33年ぶりに訪れました。関門橋や赤間神宮やフクなど以上に感動したのは「下関の人」です。

行く先々で市民の皆さんがとても親切にしてくださいまして、感激して帰りました。素晴らしい街に生まれ育った幸せを感じています。

(37歳女性 大阪府枚方市)